

CLT を活用した内子高校部室の概要

1 建築概要

建設地 愛媛県内子町内子
構造 木造2階建て
延床面積 283.86m²
建物高さ 6.29m

2 設計

設計 (株)連合企画設計 (松山市)
構造計画・計算 きいぷらん (大分県日田市)

3 CLTの仕様

使用箇所 壁・床・屋根
使用樹種 スギ (5層5プライ)
強度区分 Mx60-5-5
使用数量 85.1m³
※県内で原料となるスギ原木を調達し、(株)サイプレス・スナダヤでラミナ加工を行い、銘建工業(株) (岡山県真庭市) でCLTに加工

4 CLT建築物の構造計算

平成28年3月に告示されたCLTパネル工法の構造計算のうち、ルート1の手法により構造計算を実施

5 部室の概要

1階 体育器具庫(35.7 m² 【7.6×4.7m】) 1室、部室 (10.8 m² 【2.3×4.7m】) 6室
2階 体育教官室(35.7 m² 【7.6×4.7m】) 1室、部室 (10.8 m² 【2.3×4.7m】) 6室

6 施工・監理業者

施工：(株)山本建設 代表取締役 長岡 幸男 (内子町)
監理：(株)連合企画設計 代表取締役 烏谷 陽一郎 (松山市)



平成30年度 CLT建築物建設促進事業

1 CLT建築物支援事業（予算額 26,000 千円）【補助事業】

CLTの需要を拡大させるには、これまで木材が使われていなかった民間の商業施設をはじめとする中高層建築物や低層の非住宅分野において、CLT建築物を建設することが求められる。しかし、現在のCLT建築物は、他工法と比べるとCLT材料単価の高止まりや建築事例が少ないことから、建設コストが割高となっている。

このため、民間事業者等が建設するCLT建築物に対して支援を行い、CLT建築物の建設を促進させることで、CLTの需要拡大を図る。

① CLT建築物建設支援事業

- (1) 事業主体 民間事業者等 ※公募により選定
- (2) 事業期間 平成30年度から平成32年度
- (3) 事業内容 CLTを構造部材として利用した建築物(住宅は除く)の建設に要する補助
- (4) 補助単価 CLT使用量に対する定額補助 (CLT 1 m³当たり 100 千円以内)
- (5) 補助金の上限 10,000 千円/施設
- (6) 予算額 平成30年度補助金 20,000 千円

② CLT建築物設計支援事業

- (1) 事業主体 民間事業者等 ※公募により選定
- (2) 事業期間 平成30年度から平成32年度
- (3) 事業内容 CLT建築物の設計等に対する補助
- (4) 補助単価 CLTを構造部材として利用した建築物(住宅は除く)の設計に要する経費の1/2以内
- (5) 補助金の上限 2,000 千円/施設
- (6) 予算額 平成30年度補助金 6,000 千円 (2,000 千円/施設×3事業主体)

【補助対象施設等の考え方】

○対象施設

1. CLTを構造部材として利用した建築物(住宅は除く)
(例: CLTパネル工法、「木造軸組み+CLT」、「RC+CLT」、「鉄骨+CLT」)
2. 公共性が高いと認められる施設や不特定多数の者が利用する施設などで、特に普及・PR効果が高いもの
(例: 病院、福祉施設、教育施設、交通関連施設、商業施設等)

○採択要件

1. 国・県の他の補助事業の対象となっていないこと
2. 県が実施するCLT利用促進のための普及啓発(施工中の施設見学会及び施工後(完成後)の施設への視察受け入れ等)に協力できること
3. 県内に整備する建築物であること
4. 使用するCLTは原則として、地域材を活用して製造されたものであること
5. 同年度における補助対象は1事業主体1施設とする
6. 採択を受けた同年度内に完了できること。